

平成27年度第3回下関市公立大学法人評価委員会議事【要旨】

平成27年8月4日(火) 14:00~16:00

下関市立大学本館 5階 大会議室

下関市公立大学法人評価委員会：野口委員長、中野委員、藤上委員、佐藤委員、事務局

公立大学法人下関市立大学：荻野理事長、吉津学長、中嶋学部長、佐々木事務局長、法人事務局

1 開会のことば

2 議事

事務局 ~事務局説明~
(林参事)

(1) 平成26年度法人の業務実績に係る評価について

大項目 管理運営等に関する目標

- 中項目3 自己点検・評価・改善及び情報提供に関する目標
- 中項目4 その他の業務運営に関する目標

委員	項目番号 55-1 (情報公開の推進) ホームページへの年間のアクセス件数は。
事務局長	最近、主に SNS の方の Facebook や LINE などでの「いいね」のボタンをどれだけ押してもらえたかということに注視している。
委員	唐戸市場のHPが年間52万件ぐらいある。 こういうところに、アクセスするのは市外の方が多い。また、海外からもアクセスがあると聞いているので、こういったところにリンクを貼ってもらえれば、もっと大学のアピールができるのかなと思う。
委員	項目番号 57-1 (図書館の充実) 図書への充実には努められているとは思いますが、経営者の方と市大について話をする中で、できれば、読書会のようなものがあると、勉強にもなるし、大学に行く取っ付きになりやすいのというような話がある。 図書館は大学の顔でもありますから、図書館の充実の中で、読書会だとか、今置いてある本のPRを市民向けに行うということも、考えていただけたら、もっと図書館の利用が増えるのではないかなと思う。
理事長	読書会は個人的には開いてもいいと思う。
委員	項目番号 58 (安全管理体制の充実) 中期目標に、「個人情報保護や情報漏洩の防止など情報セキュリティの確保を図る。」という文章があり、その項目の評価が自己評価“ ”となっているが、今年3月に大学

	<p>院の学士取得の合否について、大学が発表を行う前にマスコミがそれを報じてしまったということで、大きな問題となったと認識している。</p> <p>大学が発表する前にマスコミが知ってしまったということは、情報漏洩がなされていると考える。</p> <p>業務実績報告書には「研修をやっている」と書いてあるが、そういうことが起こっているのに評価が“ ”というのは、ちょっと違うのではないかと思う。</p>
理事長	<p>大学院の学士取得の合否発表について、最初の評価委員会の冒頭でも説明したが、現在、漏洩者が確定していないということで、対応を協議しているところである。</p> <p>評価に関していえば、年度計画に基づいてどこまで実施できたか、できなかったかが評価の対象となっているため、自己評価を“ ”とした。</p> <p>なお、委員が指摘した項目については、年度計画を作っていなかったが、来年度の年度計画には入れて、情報漏洩防止に関してはきちんとした対応をしたいと思う。</p>
	<p>大項目 管理運営等に関する目標</p> <p>- 中項目 2 財務内容の改善に関する目標</p> <p>(2) 財務諸表等の承認について</p> <p>(3) 平成26事業年度における剰余金の使途の承認について</p>
理事長	~ 財務諸表等の承認について、説明 ~
事務局	~ 平成26事業年度における剰余金の使途の承認について、説明 ~
委員	財務諸表上に支払利息の記載があるが、これはリースに関わるものか。
事務局長	リースに関わるものばかりで、具体的には、講義室で利用する様々なネットワークや、映像関係のハードウェア、それから、図書館や教育用のコンピュータ・システムとなっている。
委員	徴収不能引当金に金額の計上があるが、徴収不能となったものがあるのか。
法人事務局	徴収不能となったものもある。
委員	これはどういった方が。退学されている方が。
法人事務局	退学は授業料を完納されているという形になる。 基本的には除籍という形で授業料を支払っていただいていない方が対象となる。
委員	どの程度、追いかけているのか。
法人事務局	事実が発生して3年間は追いかける形になる。 債務が承認されれば、それ以降も追いかけていく。
委員	事務の方の苦勞が良く分かる。
法人事務局	なかなか回収できない債務について。その間、電話をするなど手は尽くしているのか。 文書と電話で対応している。
委員	『損益計算書』ですが、毎年「その他雑益」という営業外のもの、経常的な収入では

	ないものがあるが、主なものは何か。
事務局長	固定資産の貸付使用料と学生用アパートからの収入である。
委員長	『財務諸表』11頁の(10)-(2) 目的積立金の取崩しの明細 に「資産の購入」とあるが、具体的にはどういったものを購入したのか。
事務局長	資産の購入の内容については、建物の附属設備や、ソフトウェアがある。
委員長	その他 経済学科と、国際商学科の定員充足率が15%を超えているが、大学としては定員充足率の何%までが対応可能か。
学長	一応、150%くらいまでは対応可能と見ている。
委員長	人件費の割合はどのくらいになっているか。
事務局長	決算ベースで、全収入の69.2%、学生納付金収入の78.16%

= 自己評価区分の妥当性について =

項目番号 51-1 (自己収入の増加)

自己評価区分 “ ” “ ” に変更。

外部資金が研究費総額の44.7%を占めているということを凄いことである。

これまで40%を超えたことがなかったこと、過去に2割を超えることが出来なかった年度があったことを考え自己評価区分を “ ” に変更する。

= 特筆すべき事項について =

追加及び修正すべき事項なし

= 指摘事項について =

なし

大項目 予算、収支計画及び資金計画

「財務諸表等の承認について」において審議済

大項目 短期借入金の限度額

大項目 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

大項目 剰余金の使途

事務局長 ~説明~

審議事項なし

大項目 施設及び設備に関する計画

大項目XI 積立金の使途

事務局長 ~説明~

審議事項なし

= 全体（意見） =

委員

今、大学間の競争が非常に激しくなっており、カリキュラムはなかなか直ぐには変えることができないと言いましても、あと3年待っていたら、他の大学に水をかなり開けられてしまう。

どんなに努力しても、ますます子供たちの数が減る中で受験生が増えていくのかどうか、そのあたりが心配である。

早めにカリキュラムを変えること自体が受験者数の増加に繋がると思う。

（４）その他

平成25年度公立大学法人下関市立大学の業務実績に関する評価において指摘された事項への対応について

理事長

～説明～

3 閉会のことば

—閉会—